

# 大銀杏

おいちよう

令和3年2月2日  
節分号 第8号  
発行：日蓮宗圓藏寺

〒330-0054

さいたま市浦和区東岸町1-29

電話 048-882-2835

FAX 048-883-9848

Facebook・Instagram

浦和 円藏寺 検索



公式 HP



YouTube

新しい年を迎え、あつという間に1ヶ月が経ちました。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、当初の予定では、この新聞を節分までには皆様のもとへお届けしたいと考えておりました。ところが、今現在この文章を書いているのが1月31日。反省しかございません。大聖人のお言葉に

## 日蓮大聖人のお言葉

水は寒積れば氷こおりとなる、

雪は年累かさなつて水精となる。

悪積もれば地獄となる。

善積もれば仏となる。

## 南條殿女房御返事

日蓮大聖人のお言葉に触れ、日々の生活の指針を求めたいと思います。このお言葉は、弘安元年(1278年)、大聖人57歳の時、女性信徒へ書かれたお手紙です。米2俵の供養に謝し、こうした法華経供養の功德が重なれば必ず成仏するだろうとお説きなされました。

この体たらくに響く言葉はないかと尋ねてみますと、今の私にまさに必要なお言葉に出会いました。このお手紙の中で、「水は積もれば氷となり、雪は年をかさなつて水晶となる。人は、悪が積もれば地獄に落ち、善が積もれば仏になります。」とお教えくださっています。「今(現在)」というのは「過去」の結果です。そして「今」を過ごした結果が「未来」です。「過去・現在・未来」という時間の中で我々は過ごしています。

人の一生はどれくらいあるかご存じですか。平均的に、人の一生は約3万日と言われています。これは年数で言うると82年、時間にするると72万時間。そのうち30%強の24万時間を睡眠。約15%の10万時間を仕事。これ以外の約55%、40万時間を食事・入浴・趣味などの自由時間に費やしているそうです。これは、あくまで一例ですが、これをどう捉えるかで人生の豊かさも変わってきます。

多くの方が一度は口にした事がある「明日から頑張ろう」。締め切りを守れていない私が言える立場ではありませんが、その「明日」は往々にしてやってきません。私自身のここ数ヶ月の時間の使い方を思い返してみても、やはり要所要所に善よりも悪を重ねてしまった結果として今の自分を招いていると猛省しています。

高校を卒業する際、先生が仰った言葉をふと思ひ出しました。「いつか死ぬとき、その時になって『あれ?』って思うような生き方だけはするなよ。」今を精一杯生きるとはどのような事か、この限られた人生をどう生きるかを大聖人の言葉を胸に歩んでまいります。

皆様とともに善を積み重ねていける一年となりますように。(良海)

日蓮大聖人御降誕800年報恩感謝シリーズ3(全3回)  
**ご降誕ゆかりの地**

令和3年2月16日、日蓮大聖人御降誕800年の節目を迎えます。報恩感謝シリーズ最終回では、大聖人のご誕生の地・ご両親のお墓をご紹介します。また、日蓮宗で行われる慶讃事業の一部をご紹介します。



## 小湊山 誕生寺 ～日蓮大聖人ご降誕の霊跡～

千葉県鴨川市小湊 183  
 誕生寺ホームページ⇒

日蓮大聖人は幼名を善日磨といい、12歳までこの地で暮らしました。文永元年(1264)、母の病氣見舞いに訪れた大聖人は、蘇生のご本尊を認めて祈願し、母・梅菊は4年間の延命の靈験があらわれました。母は大いに感激し、このご本尊を祀り、一堂を創建。その後、直弟子日家上人が建治2年(1276)に大聖人の父母の館跡に一字を建立し、大聖人自ら「高光山日蓮誕生寺」と命名したのが同寺の始まりです。明応7年(1498)、元禄16年(1703)の2度の大地震、大津波の天災により流失し、現在の地へと移ります。日孝上人は水戸家の外護を得て七堂伽藍を再興し、現在の山号寺号「小湊山誕生寺」に改められました。ところが、宝暦8年(1758)の大火により仁王門を残し全山を焼失。弘化3年(1846)、祖師堂を再建し、現在に至ります。



2/16(火)11時～宗祖降誕八百年慶讃大法要・誕生寺  
 オンライン参列(zoom、youtube)が出来ます。⇒

## 両親閣 妙蓮寺 ～ご両親のご廟所(お墓)～

千葉県鴨川市小湊 129  
 妙蓮寺ホームページ⇒



日蓮大聖人はご両親をととても大切にされた方です。建長5年(1253年)、清澄寺のお山で立教開宗(日蓮宗の始まり)をされた大聖人は、第一に父母を教化し、父に「妙日」、母に「妙蓮」という法名を与えた後、自らを「日蓮」と名乗るようになりました。ご両親のお墓がある同寺は「両親閣」として知られ、父母の法名にちなみ「妙日山妙蓮寺」と称する親孝行のお寺です。

## 【日蓮宗公式】日蓮聖人降誕800年記念事業

令和3年6月  
 於・歌舞伎座

## 歌舞伎 「日蓮」



スーパー歌舞伎「ワンピース」を手掛けた脚本家・横内謙介氏と歌舞伎役者・四代目市川猿之助氏がタッグを組み、その崇高な御姿が歌舞伎として、現代に蘇えます。

※日蓮宗 HP より画像・文章を転載

※コロナ禍の影響により、現時点ではまだ詳細は決まっておりませんが、寺子屋円蔵寺・出張企画として、6/13(日)に30枚予約致しました。円蔵寺を通してのお申込は、詳細が決まり次第、円蔵寺ホームページ等を通じてご案内致します。

一晩 de 祖師伝  
 語り紡ぐ日蓮聖人のご生涯  
 2/15(月)19:00-21:30  
 全国日蓮宗青年会主催



講演×講談×高座説教  
 オンライン(zoom)開催



# 行事報告

## 新企画『お寺解放日』

令和2年11月13日・19日



11/13(金)  
11/19(木)  
10:00  
~16:45

URAWA OPEN TEMPLE

### お寺解放日

●何もしない。今日は仏さまとゆっくり過ごそう。

お寺解放日とは、お寺の境内や境内周辺で、お寺の歴史や文化、お寺の行事などを学ぶためのイベントです。お寺の境内や境内周辺で、お寺の歴史や文化、お寺の行事などを学ぶためのイベントです。

お寺解放日とは、お寺の境内や境内周辺で、お寺の歴史や文化、お寺の行事などを学ぶためのイベントです。お寺の境内や境内周辺で、お寺の歴史や文化、お寺の行事などを学ぶためのイベントです。

お寺とは僧侶のものでもなく、檀信徒はじめ皆様と一緒に作り上げていく仏の里です。お寺に行くのは、法事の時だけ。もちろん大事なことはありませんが、それだけでは勿体ないと思いませんか。皆様の生活の一部にお寺を加えていただければと願い、「なにもしない」をテーマにした新企画がこの『お寺開放日』です。

何も考えずフラッとお寺を訪れる。日常を少し離れたその「半日常」の時間と空間は、日々の生活にメリハリをつけ、新しい日常をもたらしてくれます。どのように使うかは人それぞれです。実際の使われ方は、へ本堂でお経を読む・ご友人と御朱印帳作り・試験勉強・嘶家さんの稽古場・読書・お子様と過ごす、等〆仏様に見守られながらまさに十人十色にご覧いただきました。副住職が豆から挽くドリッブコーヒーもご好評いただきました。コロナ禍のため、現在中止にしていますが、今後も不定期で開催していきたいと思えます。

# 円蔵寺が御朱印の本に掲載されました！

### 『御朱印でめぐる埼玉のお寺』地球の歩き方編集室 編 (ダイヤモンド社)

『地球の歩き方御朱印シリーズ』は 2006 年に誕生した御朱印をテーマとした人気書籍のシリーズです。これまで鎌倉・京都など全国各地を取り扱い、この度発刊された本書は埼玉の約 2300 ケ寺から厳選された 108 のお寺が記載されています。そのうち日蓮宗のお寺は 3 ケ寺のみであり、円蔵寺が掲載されたことは大変光栄なことでもあります。

円蔵寺では、昨年(2020年)より季節限定御朱印を頒布してまいりました。有難いことに、この御朱印を通じて、これまで円蔵寺を知らなかった方も大勢ご参拝くださいました。心より感謝申し上げますと共に、今後もお寺から様々なことを発信していき、皆様がまた参拝したくなるお寺を目指してまいります。



2020年の季節限定御朱印の一例。「季節を感じながら一緒にお題目をお唱えする」をテーマにしました。この中で一番頭を悩ましたのは「冬」です。冬というと「サンタさん・クリスマス」など魅力的な季節ではありますが、仏教とはかけ離れており、描くことはできません。そこで、降り積もる雪、その一つ一つの結晶にお題目の魂がしみこみ、世界中に温かいお題目の雪を降らしていることをイメージし、お題目にて雪の結晶を描きました。また、お題目の両脇には日蓮大聖人のお言葉の一説を記し、単なる「御朱印ブーム」で終わらず、御朱印を通じて仏教・お題目に触れていただく機会が増えることを願って続けてまいりたいと思えます。

※限定御朱印は数に限りがあるため、常時頒布は出来ない事をお許しください。今後の限定御朱印の情報は、「浦和円蔵寺」SNS(インスタグラム・フェイスブック)を通じてご案内致します。尚、混乱を避けるため、お電話での対応はしておりません。ご質問等は、DMまたはメールにてお願い致します。



# 奉納感謝

ご奉納感謝いたします。大切に使用させていただきます。

【掃除道具一式】 赤坂翠 荒井裕子 高津充裕 高津奈津子

高松千春 田邊聖子 本多敦美 宮野貴子 山寺志のぶ (敬称略)

掃除の日(月1回)に毎回ご参加いただき、掃除道具を沢山ご奉納くださいました。沢山の方のご協力もあり、細かなところまで磨いていただきお寺が輝いてきています。

【小型ヒーター】 高津充裕様 高津奈津子様

【暖房器具三台】 小野利恵子様(寺ヨガ講師)

【暖房器具一台】 立川談慶様(落語立川流真打)

【暖房器具一台】 神田紅佳様(講師)・松野一夫様・曾根久様



円蔵寺は木造の古い本堂で冬場は大変冷え込みます。ご参拝の皆様に変えて迷惑をおかけしていましたが、多くの方のご協力のおかげで、昨年談慶師匠に御奉納いただいたものも含めると、計7台の新しい暖房器具が設置されております。広い本堂を完全に暖める事は難しい面もございますが、以前に比べると雲泥の差です。心まで温めてくださる御奉納に感謝申し上げます。

【手作りすすきみみずく・手作り竹とんぼ 沢山】 柴田永二様



ススキの穂を束ねて作られたみみずくは、ご希望の方にお譲りさせていただきますました。一つ一つ手作りの縁起物なので、皆様大変お喜びくださいました。竹とんぼはまだ在庫がございます。昨今見かける事も少ない貴重な昔ながらの遊びです。お子様・お孫様のプレゼントにも喜ばれると思います。ご希望の方(無料)は寺務所までお気軽にお声かけください。柴田様、いつも有難うございます。

【ガンプラ〜円蔵寺モデル〜】 小野隆正様



お寺にガンプラ(ガンダムのプラモデル)と聞くとびっくりされるかも知れませんが。しかし、実物を見るとその精巧な作りに皆様もつと驚かれるはず。円蔵寺の仏具に合わせ朱色漆風・各所に梵字を配置・合掌スタイル等、完全オリジナルの円蔵寺モデル。玄関で皆様をお迎えしていますので、ご参拝の際には是非ご覧下さい。

## 本年の「節分会星祭り」について



コロナ禍を鑑み、恒例になってきました法要・福豆まきは中止になりました。楽しみにしていただきました皆様、申し訳ございません。本年はお札等のお申込のみ受付致します。僧侶のみでご祈祷をし、随時授与(基本郵送・郵送料一律五百円)となります。

○申込締切 二月十五日(月曜日)

○受付方法 申込書をメール・FAX・寺務所まで

※詳細は、別紙申込書をご覧ください。円蔵寺ホームページからご確認ください。



### ① 祈祷札(木札)

1 祈願 2,000 円  
家内安全・身体健全・当病平癒  
商売繁盛・学業成就 等

### ② 星祭守(お守り)

お一人 500 円  
ご自身の生まれ年のお守り。  
お財布等に入るサイズです。

### ③ 三宝荒神お札

火伏せ・かまどの神様。  
台所の高いところに貼ります。

※ご案内をしていた埼玉県修法師会主催「國禱会」(2/25 於・円蔵寺)はコロナ感染対策のため規模を縮小する事となりました。そのため、当山を会場にしての開催は翌年以降へ変更となります。混乱をさせてしまい申し訳ございません。来年以降の開催については、決定次第改めてご案内させていただきます。何卒ご容赦ください。